

地域活性化伝道師プロフィール		分野		農・林・水産業	
		地域産業・イノベーション・農商工連携		農・林・水産業	○
		地域医療、福祉・介護、教育	○	観光・交流	○
		地域コミュニティ・集落再生	◎	環境	○
		地域交通・情報通信	○	まちづくり	◎
ふりがな		やの とみお			
氏名		矢野富夫			
所属	名称	梶原町			
	役職	前高知県梶原町長			
連絡	住所	(公開)	〒 785-0625		
		(公開)	高知県高岡郡梶原町上折渡296番地		(自宅)
	連絡先	(公開)	E-Mail tomio-yano[アットマーク]me.pikara.ne.jp		
		(公開)	TEL 0889-62-3135	FAX 0889-62-3135	
連絡方法	-				
略歴	<p>○1954年 9月 高知県梶原町に生まれる</p> <p>○1973年 3月 高知市立高知商業高等学校卒業</p> <p>○1973年 4月 高知県梶原町役場奉職</p> <p>○1996年 1月 産業建設課長</p> <p>○1998年 4月 総務課長</p> <p>○2001年 8月 梶原町助役就任(平成19年より副町長)</p> <p>○2009年12月 梶原町長就任</p> <p>○2017年12月 梶原町長退任</p> <p>○現在、「内閣府地域活性化伝道師」「高知県集落活動センター推進アドバイザー」「アニバーサリーコンサル株式会社デジタル一丁目伝道師」「学校法人平成学園アドバイザー」及び「集落活動センターゆすはら連絡協議会本部長」並びに「内閣府小さな拠点・地域運営組織の形成推進に関する有識者懇談会委員」など。</p>				
著作・論文等	-				
取組概要	<p>町長時代に、町民の不安に思うことや町内外の意見等を調査分析し「絆と自立」をキーワードに「小さな拠点ゆすはらづくり」を掲げ、「自分たちでできることは自分たちでやる」を合言葉に、地域の課題を解決する小さな拠点・地域運営組織(梶原町では集落活動センターという)を町内全域に6ヶ所設立するとともに、ゆすはら未来大使を任命している国立競技場を設計した世界的建築家隈研吾氏とともにまちづくりに取り組み、雲の上の図書館やホテル、福祉の複合施設など地域の拠点を整備し生きる仕組みをつくり人口減少に歯止めをかける等、まちづくりのモデルとなっている。そうした経験から全国各地の大学、各種団体、市町村や市町村議会等リモートや足を運んでの仕事の仕方や小さな拠点・地域運営組織の必要性及び地域の生き方などの講演をはじめ地域の課題を解決する仕組みを共に考える活動を行うとともに、高知県集落活動センター推進アドバイザー、内閣府小さな拠点・地域運営組織の形成推進に関する有識者懇談会委員、デジタル化の推進・教育の充実等のアドバイザー活動を行う。</p>				
メッセージ	<p>あなたは、今、どんな生き方をしていますか。満足していますか、不安はないですか悩んでいませんか。幸せかどうかは自分自身です。コロナ禍により新しい生き方が求められている今こそ、これまでの仕事の仕方、考え方を見直してみる時です。一度きりの人生、ただ生きるのではなく夢、目的を持ち、どのように生きたのかによるのではないのでしょうか。その「どのように」が地方創生であり、地方創生とは「それぞれの地域で生きる仕組みをつくること」と考えて取り組んできました。地域で生きるためには何が不安か今を見つめ直してみる時です。特に、まちづくりの先頭で頑張る市町村の職員は「仕事とは」「目的とは」「学ぶ」とはなどについて、これまでの考え方を変える時です。</p>				
関連ホームページ	-		活動エリア	全国	

※ 公開できる情報のみ掲載しています。

※ 依頼・相談等に伴う謝礼等条件につきましては、双方協議の上、決定してください。

※ メール送信は、[アットマーク]を@に置き換えて行ってください。